

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和5年8月号

◇ 行事報告 ◇

7月18日（火）摩利支天月例祭

連日の猛暑日で、檀信徒の皆様にはお見舞い申しあげます。

今月は、この度新しく本堂に設置されたクーラーの中での開催となりました。改めて、中島商会の中島勉会長と寄付を頂いた檀信徒各位に感謝申しあげます。

さて、7月、8月はお盆月です。御先祖の方もおうちでゆっくりされていることでしょう。

もともとのお盆は、釈迦の弟子である目連^{もくれん}の母のエピソードが元になっています。

目連には神通力がありました。そこで自分の母親は極楽で何をしているのか見てみようとしませんが、そこに母はいません。まさかと思いましたが、亡き母は地獄で逆さ吊りの刑を受けていました。何とかして母を救済できないかと思い、お釈迦様に教を乞いました。

お釈迦様は「旧暦の7月15日（現在の8月中旬ごろ）に多くの高僧を心から供養すれば、地獄の苦しみから救えるであろう」と伝えます。そして目連はそのとおりに実践したところ、母親が無事に往生することができた、というものです。

お盆は「盂蘭盆」と言います。サンスクリット語で「逆さ吊りの苦しみ」を意味する「ウラバンナ」からきているといわれています。これが日本に伝わり、たとえ苦し

みの中に居られる御先祖がおられても、心から供養すれば必ず往生され、各家に帰ってこられるとの思いから、お盆の行事がはじまったといわれています。

また、盆とは文字どおり、供物を置くための容器を意味するため、供物を供え祀られる精霊の呼称となって、盂蘭盆と混同されて合わさったものともいわれています。



さらに、9月にはお彼岸があり、当山でも9月20日に「施餓鬼会」を行います。
御先祖様への感謝を込めて、お題目を唱えてご供養しましょう。 合掌

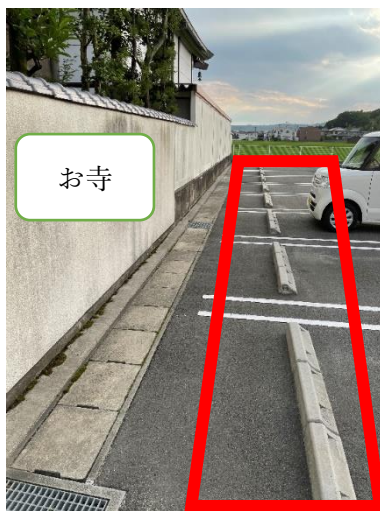
◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

9月18日(月・敬老の日)・10月18日(水) 午前10時より執行いたします。
当面当山では、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。マスク着用はご自身の判断にお任せしております。

施餓鬼会

9月20日(水) 午後1時より執り行います。



当日のみ、お寺の北側に隣接するももレディースクリニック駐車場の一番南側(お寺側)の一列が使用できます。境内の駐車場と合わせてご利用下さい。駐車に際しては、事故等がないよう十分注意してください。

新型コロナウイルスも未だ終息していない事もあり、マスク着用はご自身の判断で着用下さい。また、本堂入り口にアルコール液を用意しますので、ご利用ください。

また、**施餓鬼供養の申し込みが未だの方は早めにお申し込みください。**

なお、塔婆を申込された方で、諸事情により当日の参加を見合わせられる方は、その旨を予めお寺に連絡頂けると助かります。翌日9月21日(木)は、終日お寺に居りますので、**お越し下さい。**お塔婆をお渡しします。

それ以降に来られる方は、ご連絡のうえお越しいただきますようお願いいたします。お布施は受け取りに来られた時にお願ひします。

◇ 近 況 ◇

今年も8月13日から15日まで、本了院霊園で読経の後、本堂にて檀信徒の方々のご先祖様と共に、無縁仏の方々にもお盆のお経を唱え、迎え火、送り火を焚きました。台風の影響で、送り火のご供養ができないかと思っておりましたが、本年もお盆の行事を無事終える事ができました。ありがとうございました。 合 掌

